

＝校長雑感＝

25年度の運動会も終わった。猛暑の8月から練習での熱中症を心配した。しかし、先生方の配慮と保護者の準備（十分な水分の用意）のおかげで大きな心配事もなく本番を迎えた。今年から、児童用のテントを設置した。七宝北中から借りたものと本校にあるものを利用して10張ほどである。PTAの方にお手伝いいただき無事設置でき、児童にも好評であった。また、当日は、大勢の保護者と来賓の皆様に来ていただき、大いに盛り上がった。競技はもちろん、放送や器具の出し入れなどの係分担を含めて、児童も大満足の体験をしたと思う。最後の競技「ねずみの餅引き」も大接戦のなか声援も全員が1つになり、感動的なフィナーレに向かっていった。しかし、予想外の児童のけが（骨折）に驚き、無事を祈った。

その時の職員室では、運んだ職員と教頭の判断で「骨折の可能性が高いので救急車を要請します」の声。すぐに許可し、救急車の誘導を考えた。しかし、駐車場にはあふれんばかりの車…。駐車禁止を事前に呼びかけたのに…。このままでは救急車が構内に入れない状況に啞然とした。最悪、担架で道まで運ばなければいけないのではと考えた。幸運なことに、学校に到着した救急車は隙間をぬって玄関前まで進むことができた。この児童のけがの部位は古傷の場所に近く、主治医のいる病院に搬送していただき、入院した。

事前に「駐車場はありません。ただし、荷物の運搬のための停車は結構です。来賓駐車場のみです。どうしても必要な方は申し出てください」と告知していた。申し出は1件あった。しかし、午前中は「来賓」と書かれた枠以外ほぼ満車。午後は来賓が帰られたあとにも車があり、超満車という状態。

反省すべきことはたくさんある。「何度も呼びかける必要があった」「駐車場係を作るべきだった」など。しかし、子どもが歩いて通っている距離に住んでいる人たちが保護者のはず。もし歩くことが困難な人がいれば申し出してくれるはず。テントエリアとカメラマン席の改善を含め、来年に向けてPTAのみなさんもまじえてしっかり考えていきたい。